



平成23年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年7月8日

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4187 URL <http://www.ooc.co.jp/>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）鎮目 泰昌
 問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）永松 茂治 (TEL) (06)6264-5071
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月15日 配当支払開始予定日 平成23年8月22日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年11月期第2四半期の連結業績（平成22年12月1日～平成23年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年11月期第2四半期	11,478	5.5	1,032	△1.7	1,041	△0.6	560	△23.0
22年11月期第2四半期	10,880	48.9	1,050	—	1,048	—	728	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年11月期第2四半期	25.58	—
22年11月期第2四半期	35.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年11月期第2四半期	30,181	21,407	70.3	925.66
22年11月期	28,912	19,686	67.5	946.69

（参考）自己資本 23年11月期第2四半期 21,223百万円 22年11月期 19,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年11月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年11月期	—	6.00			
23年11月期（予想）			—	6.00	12.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年11月期の連結業績予想（平成22年12月1日～平成23年11月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	23,487	6.7	1,939	9.0	1,974	9.2	1,115	△12.0	49.86

（注）当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年11月期2Q	22,937,038株	22年11月期	21,787,038株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

23年11月期2Q	9,239株	22年11月期	1,159,179株
-----------	--------	---------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年11月期2Q	21,899,267株	22年11月期2Q	20,469,961株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) セグメント情報.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	13
4. 補足情報.....	13
(1) 生産、受注及び販売の状況.....	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

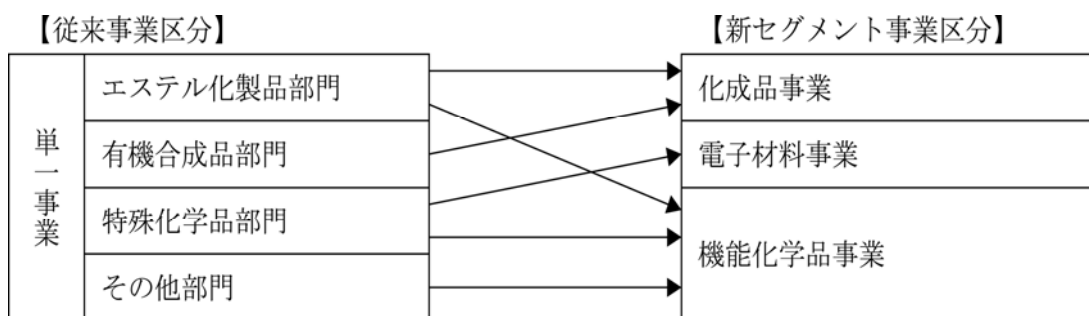
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復等を背景に、輸出や生産が緩やかに増加し、景気の持ち直しに向けた動きが見られておりました。しかしながら、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の影響により、生産活動の低下を中心に経済全体の先行きが不透明感を増しております。

このような状況の下で当社グループは、安定収益基盤である化成品事業のコストダウンによる収益力改善や、半導体関連材料の販売及び液晶関連材料の海外展開の強化により業績回復に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は114億7千8百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益は10億3千2百万円（前年同四半期比1.7%減）、経常利益は10億4千1百万円（前年同四半期比0.6%減）、四半期純利益は5億6千万円（前年同四半期比23.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、当社及び子会社はこれまで単一事業セグメントとして事業部門の業績情報を開示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用開始に伴い、マネジメント・アプローチに基づいたセグメント区分による開示を行うことにいたしました。このため、セグメント別の前年同四半期比は記載しておりません。

従来の事業区分と新しいセグメント区分との関係は次のとおりであります。



①化成品事業

化成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車塗料樹脂関連を中心に海外販売が好調に推移いたしました。メタクリル酸エステルグループは、情報関連材料や自動車塗料用途を中心に販売が堅調な伸びを示し、売上高は増加いたしました。この結果、売上高は58億4千4百万円、セグメント利益は2億6千5百万円となりました。

②電子材料事業

電子材料事業におきましては、表示材料グループは、液晶パネル関連業界の需要減速の影響により売上高は横ばいとなりました。半導体材料グループは、情報端末向けの需要が好調に推移し、売上高は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は28億4百万円、セグメント利益は5億4千6百万円となりました。

③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、国内外の市場の低迷の影響を受け売上高は横ばいとなりました。機能材料グループ（医薬中間体、その他）は、一部の受託生産の製品から撤退したために、売上高は減少いたしました。この結果、売上高は28億5千3百万円、セグメント利益は2億1千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて12億6千9百万円増加し、301億8千1百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加及び有価証券の増加などによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて4億5千2百万円減少し、87億7千4百万円となりました。これは、主に未払金の減少及び未払法人税等の減少などによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて17億2千1百万円増加し、214億7百万円となりました。これは、主に増資による資本金及び資本剰余金の増加、処分による自己株式の減少及び利益剰余金の増加などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて3億5千5百万円減少し33億5千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億8千8百万円の増加（前年同四半期は18億7千万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び法人税等の支払額などによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、22億6千9百万円の減少（前年同四半期は10億4千8百万円の減少）となりました。これは、主に定期預金の預入による支出、有価証券の取得による支出及び有形固定資産の取得による支出などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億2千6百万円の増加（前年同四半期は6億5千9百万円の増加）となりました。これは、主に長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出、株式の発行による収入及び自己株式の処分による収入などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の連結業績は、当初計画を少し上回る水準で推移いたしました。通期の連結業績予想につきましては、原燃料価格の推移や当社グループ製品の市場動向等を踏まえて、下期予算の見直しを行いました。

なお、平成23年4月8日に「平成23年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,235	1,901	1,882	1,093	48 89
今回発表予想 (B)	23,487	1,939	1,974	1,115	49 86
増減額 (B - A)	252	38	92	22	—
増減率 (%)	1.08	2.00	4.89	2.01	—
前期実績	22,022	1,779	1,807	1,268	61 73

(注) 業績予想につきましては、現段階の入手可能な情報に基づいて判断しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ2,327千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は64,257千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は64,340千円であります。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(追加情報)

退職給付引当金

当社及び連結子会社は退職給付制度につきまして、平成22年12月1日より適格退職年金制度を廃止し、確定給付企業年金制度へ移行しました。この移行に伴う会計処理については「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日)を適用しておりますが、この適用に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,021,875	4,377,094
受取手形及び売掛金	6,207,536	6,118,568
有価証券	1,398,593	790,411
製品	1,845,800	1,821,858
仕掛品	840,193	810,825
原材料及び貯蔵品	747,378	588,657
繰延税金資産	110,246	158,368
その他	78,326	76,911
貸倒引当金	△8,917	△8,929
流動資産合計	16,241,033	14,733,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,548,218	4,610,811
機械装置及び運搬具(純額)	2,371,723	2,671,639
土地	2,233,134	2,096,113
建設仮勘定	12,643	16,300
その他(純額)	310,360	371,281
有形固定資産合計	9,476,080	9,766,146
無形固定資産		
投資その他の資産	29,317	14,887
投資有価証券	3,555,078	3,363,252
長期預金	500,000	500,000
保険積立金	252,377	265,420
繰延税金資産	11,847	118,633
その他	116,016	150,408
貸倒引当金	△0	△3
投資その他の資産合計	4,435,319	4,397,712
固定資産合計	13,940,717	14,178,745
資産合計	30,181,751	28,912,512

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,471,416	3,241,017
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	894,004	874,004
1年内償還予定の社債	160,000	160,000
未払金	450,855	1,024,524
未払法人税等	330,195	617,390
賞与引当金	29,555	26,757
役員賞与引当金	21,300	41,340
その他	655,507	432,358
流動負債合計	6,042,834	6,447,392
固定負債		
社債	380,000	460,000
長期借入金	1,419,648	1,431,650
繰延税金負債	10,683	8,857
退職給付引当金	97,552	153,510
役員退職慰労引当金	448,286	426,807
固定資産撤去損失引当金	280,000	280,000
その他	95,344	18,137
固定負債合計	2,731,515	2,778,962
負債合計	8,774,349	9,226,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,318,344
資本剰余金	3,680,880	3,300,146
利益剰余金	13,537,098	13,100,590
自己株式	△3,741	△468,832
株主資本合計	20,814,533	19,250,249
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	408,786	277,859
評価・換算差額等合計	408,786	277,859
少数株主持分	184,081	158,048
純資産合計	21,407,401	19,686,157
負債純資産合計	30,181,751	28,912,512

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
売上高	10,880,372	11,478,613
売上原価	8,311,153	8,757,363
売上総利益	2,569,218	2,721,249
販売費及び一般管理費		
運搬費	184,504	166,913
役員報酬	91,511	90,433
給料及び手当	217,763	260,630
賞与	77,975	96,120
役員退職慰労金	2,670	145
役員退職慰労引当金繰入額	31,683	63,005
役員賞与引当金繰入額	20,670	21,300
研究開発費	503,253	543,578
その他	388,386	446,310
販売費及び一般管理費合計	1,518,419	1,688,437
営業利益	1,050,799	1,032,812
営業外収益		
受取利息	4,041	11,312
受取配当金	16,496	27,097
補助金収入	20,000	—
その他	24,939	13,601
営業外収益合計	65,476	52,011
営業外費用		
支払利息	21,964	20,441
株式交付費	—	14,175
シンジケートローン手数料	37,241	—
その他	8,903	8,384
営業外費用合計	68,109	43,002
経常利益	1,048,166	1,041,821
特別利益		
固定資産売却益	—	98
投資有価証券売却益	146,257	—
ゴルフ会員権売却益	—	28
その他	11,545	—
特別利益合計	157,803	126
特別損失		
固定資産除却損	541	1,281
ゴルフ会員権評価損	—	270
ゴルフ会員権売却損	250	204
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	61,929
特別損失合計	791	63,685
税金等調整前四半期純利益	1,205,177	978,262

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
法人税、住民税及び事業税	425,733	318,881
法人税等調整額	43,732	72,680
法人税等合計	469,466	391,562
少数株主損益調整前四半期純利益	—	586,700
少数株主利益	7,703	26,425
四半期純利益	728,008	560,275

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,205,177	978,262
減価償却費	714,845	687,288
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,706	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,348	2,797
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,442	△55,958
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△67,300	21,479
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	20,670	△20,040
受取利息及び受取配当金	△20,537	△38,409
支払利息	21,964	20,441
為替差損益(△は益)	△45	15
固定資産売却損益(△は益)	—	△98
固定資産除却損	541	1,281
投資有価証券売却損益(△は益)	△146,257	—
補助金収入	△20,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	61,929
売上債権の増減額(△は増加)	△87,383	△78,774
たな卸資産の増減額(△は増加)	△136,654	△212,030
仕入債務の増減額(△は減少)	△59,956	230,398
その他	467,360	△23,197
小計	1,901,508	1,575,371
利息及び配当金の受取額	20,094	36,313
利息の支払額	△21,663	△20,209
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△48,988	△602,964
補助金の受取額	20,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,870,951	988,511
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	△1,000,000
有価証券の取得による支出	△246,441	△603,195
有価証券の償還による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△139,557	△698,321
有形固定資産の売却による収入	—	157
無形固定資産の取得による支出	—	△4,620
投資有価証券の取得による支出	△809,529	△275,550
投資有価証券の売却による収入	465,120	—
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
保険積立金の積立による支出	△13,154	△11,728
保険積立金の払戻による収入	—	22,589
その他	△5,405	688
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,048,968	△2,269,981

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,000	—
長期借入れによる収入	1,050,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△302,002	△392,002
社債の償還による支出	△80,000	△80,000
株式の発行による収入	—	563,902
リース債務の返済による支出	△741	△4,441
自己株式の処分による収入	85,200	563,902
自己株式の取得による支出	—	△28
新株予約権の発行による収入	3,777	—
配当金の支払額	△81,938	△123,616
少数株主への配当金の支払額	—	△1,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	659,296	926,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,481,280	△355,224
現金及び現金同等物の期首残高	2,293,444	3,711,047
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,774,725	3,355,823

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年5月31日)

当社及び連結子会社は有機化学工業製品の製造、販売を主業とする単一事業につき、開示基準に該当するセグメントがありません。このため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年5月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。このため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年5月31日)

	アジア・豪州	米州	欧州	計
I 海外売上高(千円)	1,031,345	219,481	56,820	1,307,647
II 連結売上高(千円)	—	—	—	10,880,372
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.5	2.0	0.5	12.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・豪州・・・中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、シンガポール等

(2) 米州・・・アメリカ等

(3) 欧州・・・ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、スイス、イギリス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、アクリル酸エステル製品を軸に事業展開をしております。従いまして、報告セグメントの決定にあたっては、アクリル酸エステルを発展的に応用した製品群のうち、製品の種類及び

販売市場等の類似性を考慮し、「化成品事業」「電子材料事業」「機能化学品事業」の3区分を設定いたしました。

セグメントごとの主な事業内容は次のとおりであります。

セグメント名称	主な事業内容
化成品事業	塗料・粘接着剤・インキ向け特殊アクリル酸エステル等及びアクリル酸
電子材料事業	ディスプレイ・半導体関連を中心とした電子材料
機能化学品事業	化粧品・医薬中間体向け原材料、その他

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,844,784	2,804,320	2,829,507	11,478,613	—	11,478,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	23,656	23,656	△23,656	—
計	5,844,784	2,804,320	2,853,164	11,502,270	△23,656	11,478,613
セグメント利益	265,231	546,595	218,074	1,029,901	2,911	1,032,812

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年2月15日付で公募による新株式の発行及び自己株式の処分を行い、払込みを受けました。また平成23年3月1日付で、野村証券株式会社を割当先としてオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行を行い、払込みを受けました。その他に単元未満株式の買取を実施した結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金が281,951千円増加し、資本剰余金が380,734千円増加し、自己株式が465,090千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が3,600,295千円、資本剰余金が3,680,880千円、自己株式が3,741千円となっております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び受注実績

当社及び連結子会社は原則として見込生産を行っております。また、生産実績につきましても当社及び連結子会社の製品は多種多様にわたり、同種の製品でも仕様が一樣でなく、通常取引の単位が大幅に異なるものが存在するため、金額及び数量表示は妥当性を欠くので記載を省略しております。

② 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)		比較増減	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
化成品事業	5,844,784	50.9	—	—
電子材料事業	2,804,320	24.4	—	—
機能化学品事業	2,829,507	24.7	—	—
合計	11,478,613	100.0	—	—

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。